

五島市
再生可能エネルギー前期基本計画

目次

1. はじめに	1
2. 再生可能エネルギー基本計画の構成及び期間	2
3. 前期基本計画の趣旨	3
4. 主要施策別計画	6
5. 推進体制	7

戦略Ⅰ

海洋再生可能エネルギーの先進地

①実証フィールドの誘致	10
②浮体式洋上風力発電の実用化	12
③漁業・地域協調メニューの検討	14

戦略Ⅱ

地域をリードする研究開発・人材育成・産業集積形成

①アジア・太平洋海洋エネルギーセンター(仮称)の設立	18
②水素エネルギーの利用拡大	20
③地域主体の企業との連携・育成	22

戦略Ⅲ

持続可能な低炭素社会構築

①公共施設等への再生可能エネルギー導入	26
②バイオマスの検討推進	28
③地域に対応したエネルギーの利用	30

戦略Ⅳ

戦略Ⅰ～Ⅲをトータルサポート

①関連情報収集・提供の場の構築	34
②支援体制の構築	36
③国への要望活動	38

1. はじめに

基本構想においては、具体的な戦略としてⅠ～Ⅳの4つの項目について示し、17年後のありたい姿を「未来像」として示しました。

基本構想における未来像を実現させるための、戦略をさらに詳細に示すことを目的とし、具体的な計画として「基本計画」を策定します。

この基本計画で掲げる目指すべき姿の実現にあたっては、エネルギー分野において既に技術及び知見を有する産学官と、市民、地元団体及び企業等の地域力を結集し、取り組んでいくことが必要となっています。

また、計画策定後も、社会経済情勢の変化に対応しながら、基本計画を着実に推進していくことが重要となります。

市民の参画を得ながら、指標を活用して施策の進行管理を行うことで、計画の実効性を高めていくこととしています。

なお、社会環境の変化等により基本計画の進捗が困難な状況に陥った場合は、五島市再生可能エネルギー推進協議会の判断を仰ぎつつ、計画の可否を検討します。



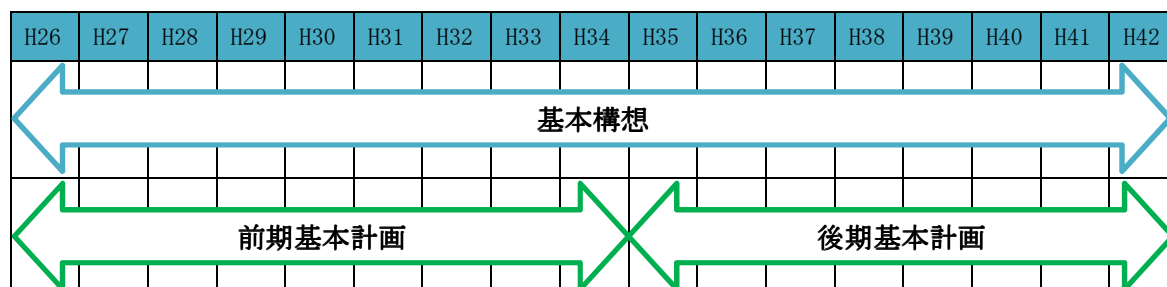
2. 基本計画の構成及び期間

●基本構想

基本構想においては、今後も「エネルギーのしま」として先進地域となり、かつ経済的にも持続可能な発展を遂げていくために、将来の本市のあるべき姿を定め、具体的な戦略としてⅠ～Ⅳの4つの項目について示し、将来のありたい姿を「未来像」として示したものです。期間は平成26年度から平成42年度までの17年間です。

●基本計画

基本計画は、基本構想を受け、未来像を実現させるために必要な施策、目標などを定めたものです。前期計画は平成26年度から平成34年度までの9年間、後期計画は平成35年度から平成42年度までの8年間です。



●実施計画

実施計画は、前期基本計画で定めた施策を実現するために事業を実施する指針となるもので、財源や事業内容が明らかとなった具体的な計画です。計画期間は3年間とし、ローリング方式で毎年度見直しを行います。

●基本構想

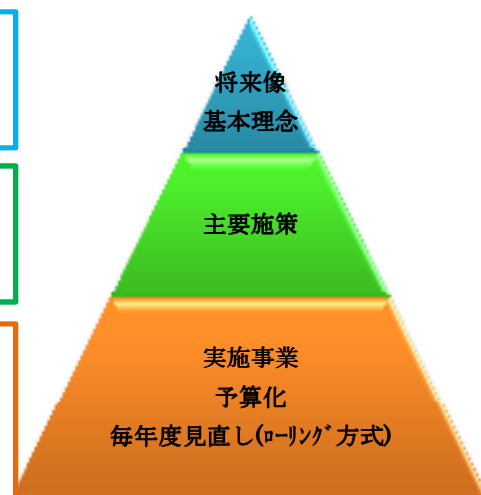
基本構想は平成42年度を目標年度とし、目標と方向を明らかにするとともに施策ごとに基本方針を示します。

●基本計画

基本計画は基本構想で明らかにした目標を達成するため、戦略ごとに施策の方向性を定めるものです。

●実施計画

実施計画は、基本計画で定めた施策について、事業の優位性と具体的な事業内容、財源を明らかにし、事業を実施する指針となる計画です。変動する社会経済状況に対応するため、3年ずつのローリング方式の計画とします。



3. 前期基本計画の趣旨

(1) 目的

- ①基本構想においては、具体的な戦略としてⅠ～Ⅳの4つの項目について示し、9年後のありたい姿を「未来像」として示しました。
- ②基本構想における未来像を実現させるための、戦略をさらに詳細に示すことを目的とし、具体的な計画として「基本計画」を策定します。
- ③基本計画の目指すべき姿を実現するためには、計画策定後も、社会経済情勢の変化に対応しながら、基本計画を着実に推進します。
- ④また、社会環境の変化等により基本計画の進行が困難な状況に陥った場合は、五島市再生可能エネルギー推進協議会の判断を仰ぎつつ、継続の可否を検討します。

(2) 基本的な考え方

①基本方針1「五島に活力を！」五島の地域活力向上につながる導入を目指す

基本構想に記載している本市の地域特性、海洋再生可能エネルギーの地域資源を最大限活用し、海洋再生可能エネルギー実証フィールドの誘致や、浮体式洋上風力発電の実用化を目指し、関連産業の創出・活性化を図り、新たな雇用の創出や所得の向上を目指します。また、漁業・地域協調メニューの検討を行い、実用化フィールドの漁場としての有効活用が図られ、発電事業者、漁業者、関連事業者、地域住民も共に潤うWin-Win方式の構築を目指します。

②基本方針2「暮らしを守る！」五島に住んで良かったと思える、安全・安心のまちづくりにつながる導入を目指す

新たな代替エネルギーの活用や、災害時活用電力供給システム構築、バイオマス発電による地域循環型の構築など、本市で安心して暮らすことが出来るまちづくりを目指します。

③基本方針3「こどもたちに豊かな島を継承する！」産学官民の力を結集した事業参画と協力体制構築による導入を目指す

継続的な産業・雇用を再生可能エネルギーで生みだし、こどもたちが将来五島で暮らしているようなまちづくりを目指します。

以上の3つの基本方針を軸に、五島市の目指す将来像である

エネルギーで活力をつくり、エネルギーを生産する「エネルギーのしま」

を実現していくことを目標とします。

(3)戦略

再生可能エネルギー導入プロジェクトは、4つの戦略に基づき、以下のプロジェクトを推進します。

戦略Ⅰ：海洋再生可能エネルギーの先進地

本市の海洋再生可能エネルギー地域資源を最大限に活用し、浮体式洋上風力発電・潮流発電を対象とする海洋再生可能エネルギー実証フィールド誘致を図るとともに、本市海域での実用化に向けた取り組みを目指します。

また、実証フィールドとなることで、五島市の新たな役割、ブランド化の確立を目指します。

本市杵島沖において、平成22年より環境省による浮体式洋上風力発電実証事業が行われており、平成25年10月には2,000kW級の実証機が運転を開始しています。実証事業で終わるのでなく、最終的に五島海域における実用化を目指すために送電網の強化や蓄電技術の取り組みを目指します。

海洋再生可能エネルギーの導入を考えるうえで、漁業・地域協調メニューの検討は最も重要なことであり、発電事業者、漁業者、関連事業者、地域住民と共に創るWin-Win方式の構築を目指します。

戦略Ⅱ：地域をリードする研究開発・人材育成・産業集積形成

海洋再生可能エネルギー実証フィールドでは、実証実験を通じて様々な研究が必要であるため、アジア・太平洋海洋エネルギーセンター(仮称)を設置し、海洋エネルギーの研究を国内大学等との連携により進めるとともに、事業者との共同研究・開発を目指します。

大規模発電に伴う水素製造により、新たな代替エネルギーとして燃料電池や水素車や水素漁船等の活用を目指します。

再生可能エネルギー分野は、今後ますます開発普及が進むものと考えられることから、関連産業についても大きな成長が期待されます。地域の再生可能エネルギー資源を活用して地域に利益が循環する仕組みを構築することにより、関連する研究開発・人材育成・産業集積形成を目指します。

地元企業による再生可能エネルギー関連設備・部品の製造、施工・メンテナンス等の産業創出により、地域産業の活性化を図ります。

戦略Ⅲ：持続可能な低炭素社会構築

公共施設等へ再生可能エネルギーによる電力供給設備を導入することで、災害時においても復旧・復興に向けた必要な機能を維持することができるシステムの構築を推進します。

廃棄物系バイオマス発電や、林地残材等の木質バイオマスの敷料・燃料生産、耕作放棄地を活用した飼料・燃料生産をすることで、地域で利益が循環し、資源を有効活用できる地域資源循環型システムの普及を進めます。

太陽光発電、小水力発電など、地域に対応した再生可能エネルギーの導入について、地域の状況や手続きなどの支援をします。

再生可能エネルギー導入による「エネルギーのしま」を観光資源として活用したエコツーリズムを推進します。

戦略Ⅳ：戦略Ⅰ～Ⅲをトータルサポート

これまで掲げたⅠからⅢまでの戦略を実現するために、市民、事業者及び行政の協働による取り組みを支える仕組みを推進します。具体的には、関連情報収集・提供の場の構築や関係団体等の支援体制構築により、トータルサポートする仕組みを作り上げます。

また、地域主導の再生可能エネルギー産業の育成や「エネルギーのしま」を継続するためのこどもたちへの教育等に必要な情報提供・人材育成の機会を設けるとともに、再生可能エネルギーの普及を図ります。

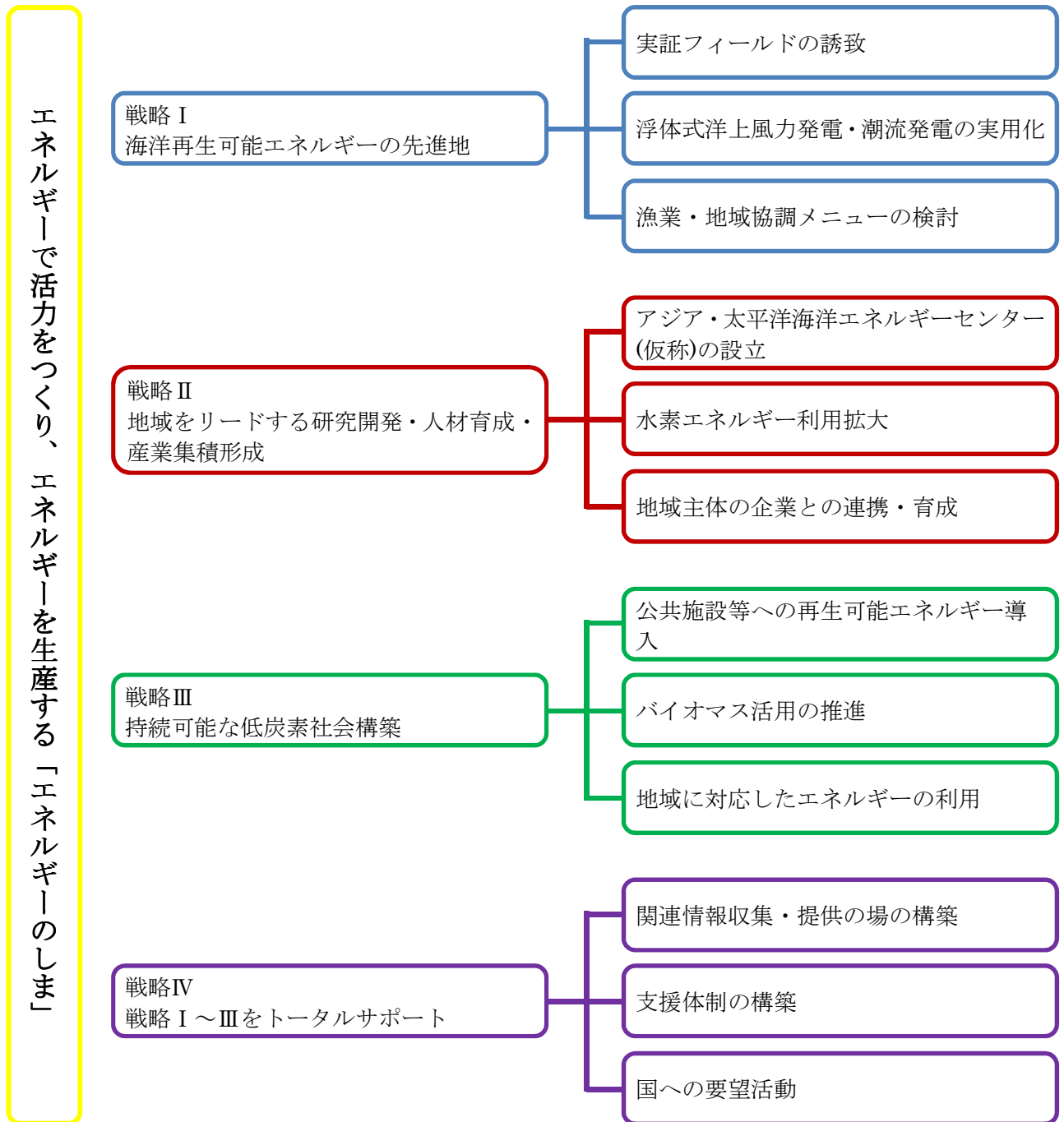
4. 主要施策別計画

前期基本計画では、基本構想に定める4つの戦略と12の主要施策ごとに、課題や目指すべき姿、達成度がわかる成果指標などを設け、エネルギーで活力をつくり、エネルギーを生産する、「エネルギーのしま」の実現を目指します。

将来像

戦略

施策



5. 推進体制

事業推進体制の構築

再生可能エネルギー事業の効果は、産業面のほか環境、教育、まちづくり等多方面に及ぶことから、その推進にあたっては、横断的に連絡・調整しながら進めていくことが重要です。

また、市民、事業者の参画のもと、国や県等と連携を図り、時には、研究機関等からの意見・提言を踏まえて進めるなど、関係者が一体となって取り組むことも重要です。

平成26年1月に設立した「五島市再生可能エネルギー推進協議会」や、アジア・太平洋海洋エネルギーセンター（仮称）と連携し、今後の再生可能エネルギー関連施策については前期基本計画をベースに推進していきます。

事業推進体制のイメージ

